

●アンケート調査について

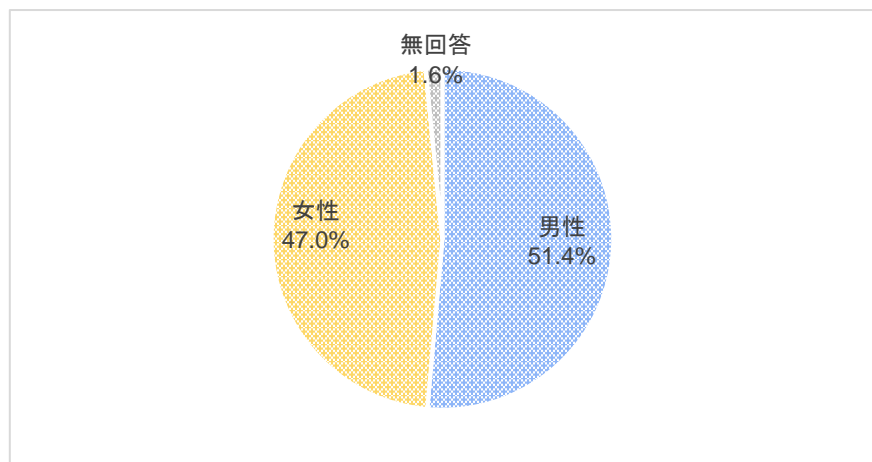
泉北ニュータウンにお住まいの方や、仕事などで関わりのある方を対象にアンケートを実施。コロナウイルス感染防止のために主にWEBアンケート形式で実施。（郵送による対応も実施）回答者の総数は319人（2020年8月17日時点）。

泉北ニュータウンにて必要なサンプル数は316.6人（人口12万人、信頼レベル95%、許容誤差5.5%、回答比率0.5として計算）。

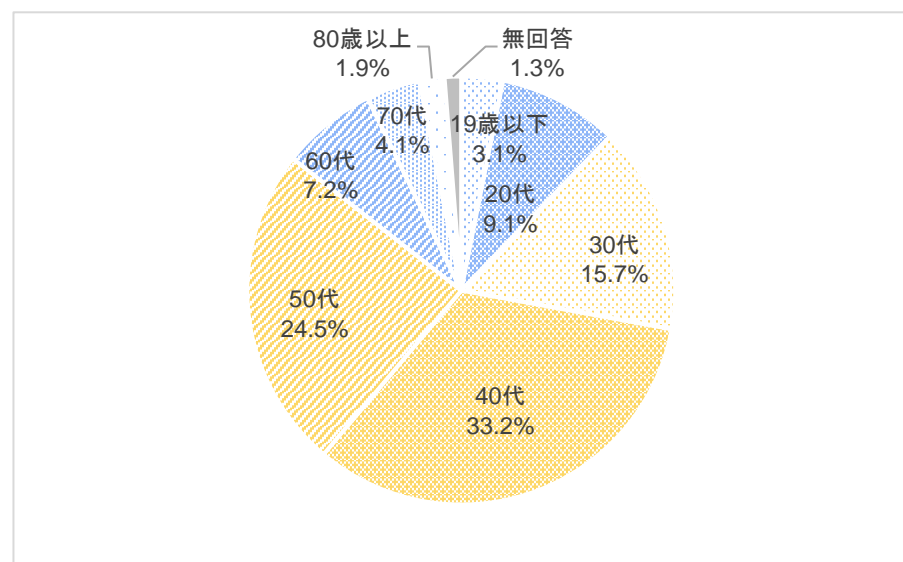
現指針を策定するにあたり実施したアンケート（2009年）との比較が可能な設問についてはグラフにまとめている（グラフ赤色）。2009年の回答者数は1,397名。回答者の内60代以上が43%を占めており、今回のアンケートでは14%にとどまっているため、比較はあくまで参考数値となる。

●基礎情報

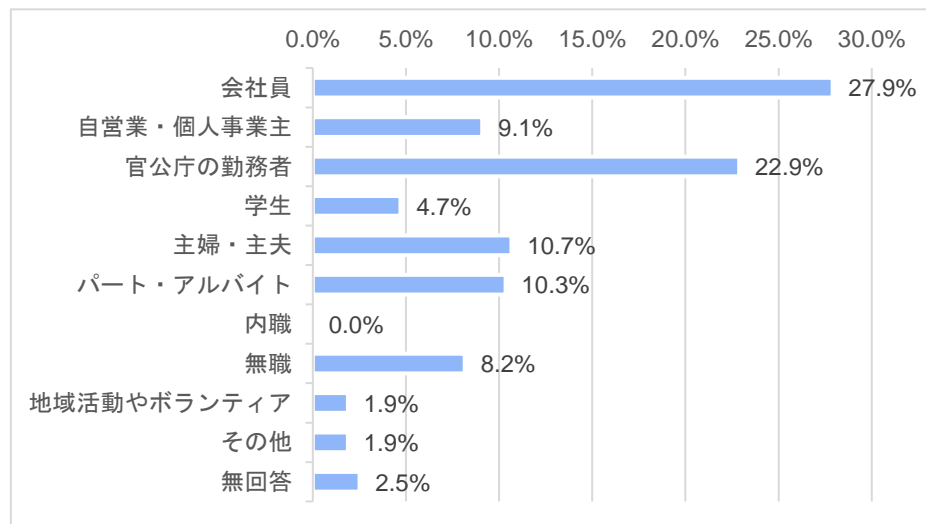
【問1】あなたの性別（%）



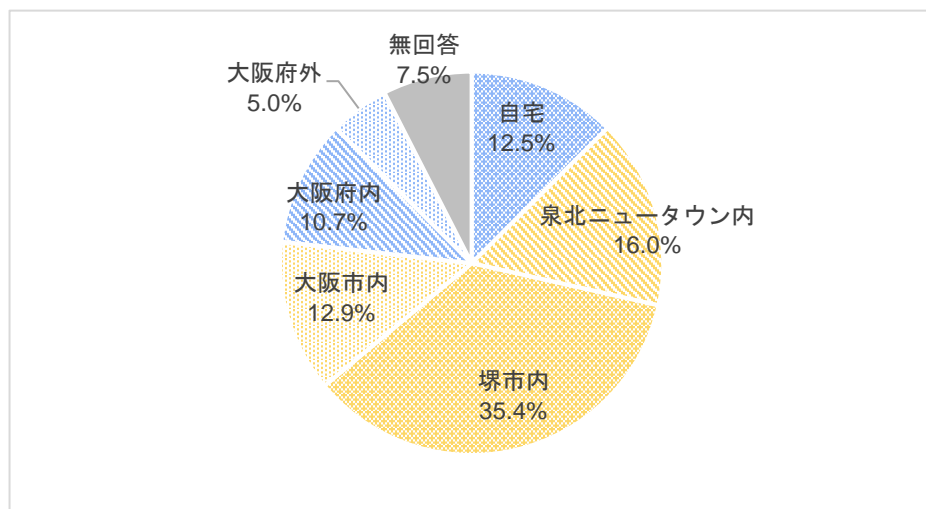
【問2】あなたの年齢（%）



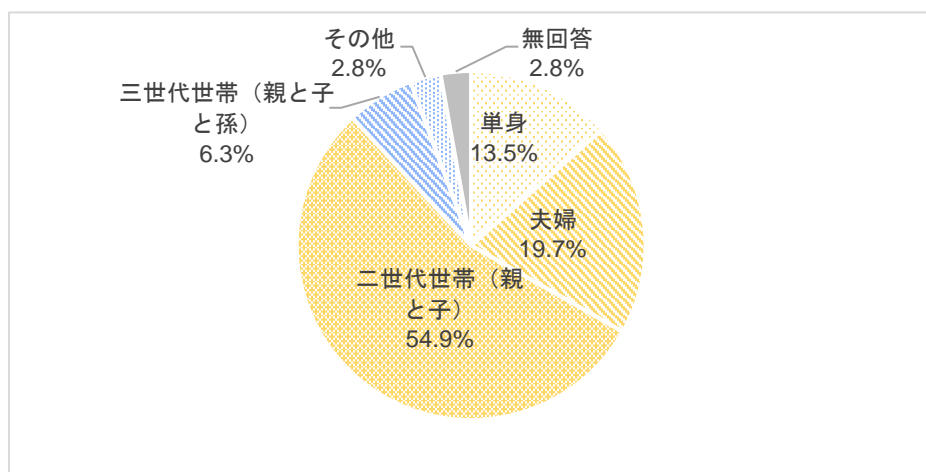
【問3】あなたの主な職業（%）



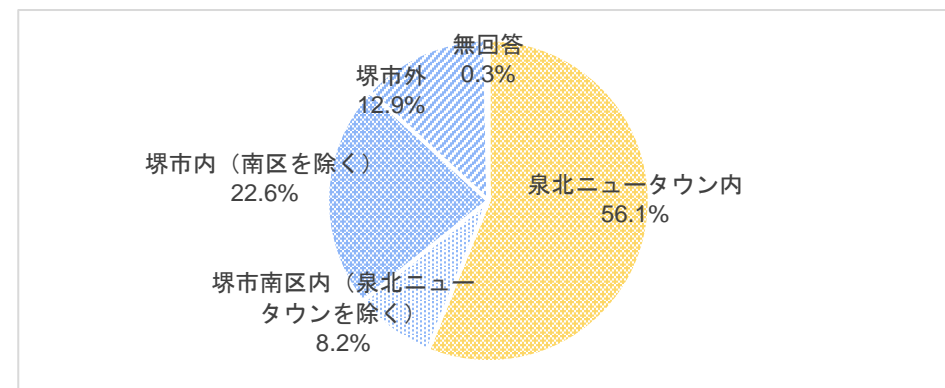
【問4】あなたの勤務先または通学先（%）



【問5】あなたの世帯構成（%）



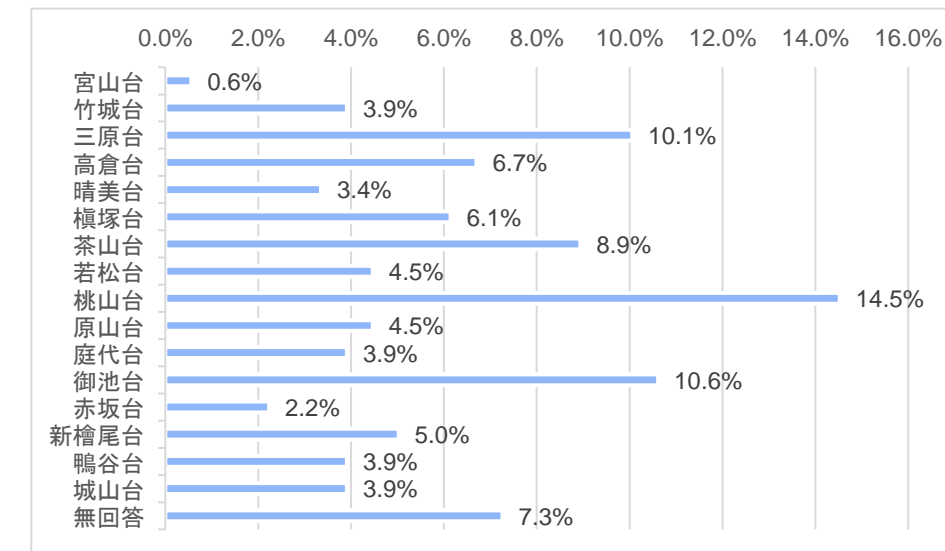
【問6-1】あなたの居住地（%）



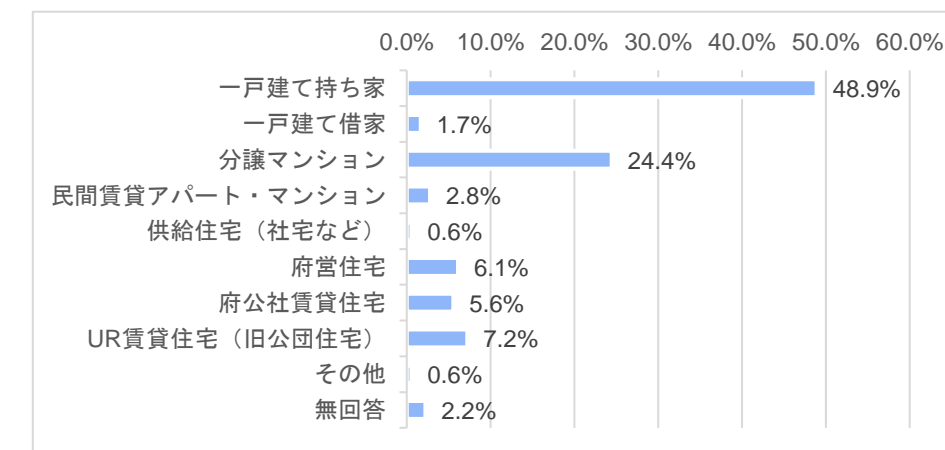
●基礎情報（泉北ニュータウン在住者のみ回答）

泉北ニュータウン内在住の回答者の総数は173人

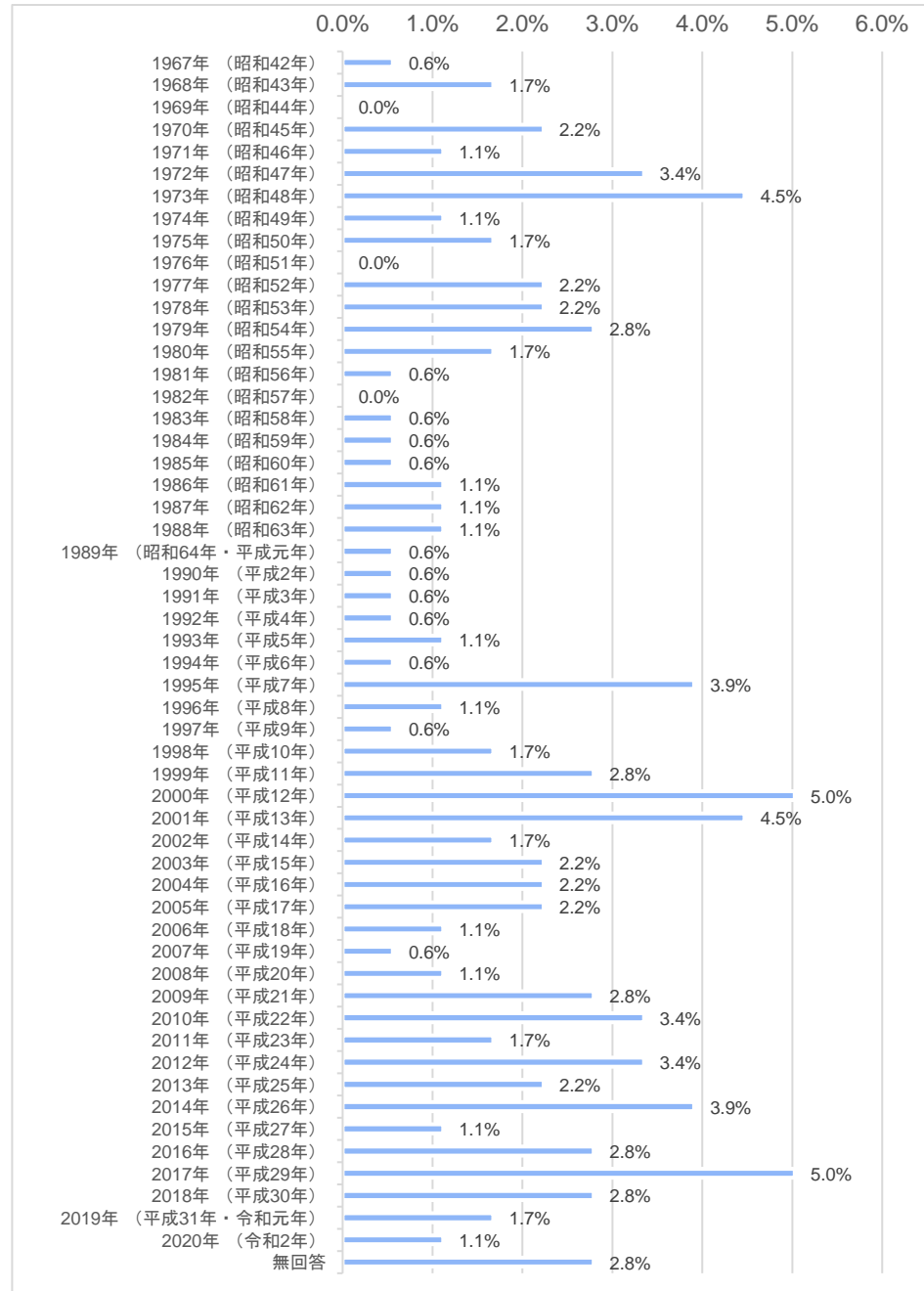
【問6-2】あなたの居住地（%）



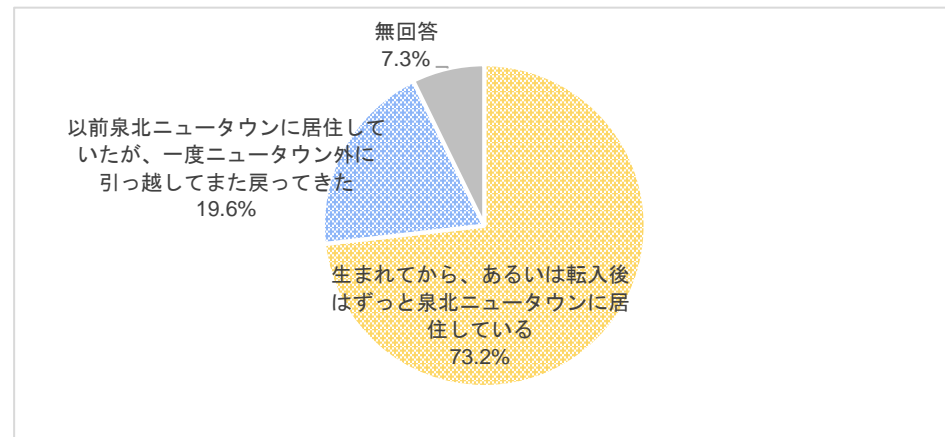
【問7】現在お住まいの住宅の形態（%）



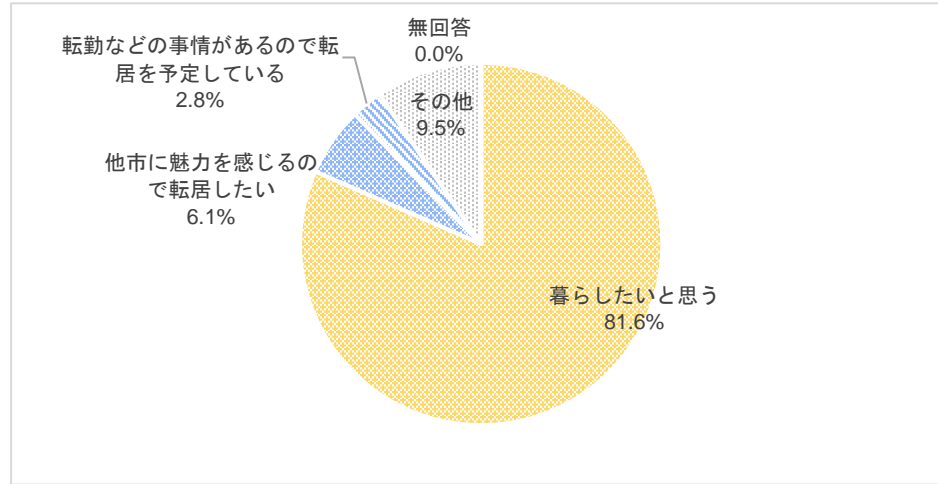
【問 8-1】 泉北ニュータウンに住み始めた時期（％）



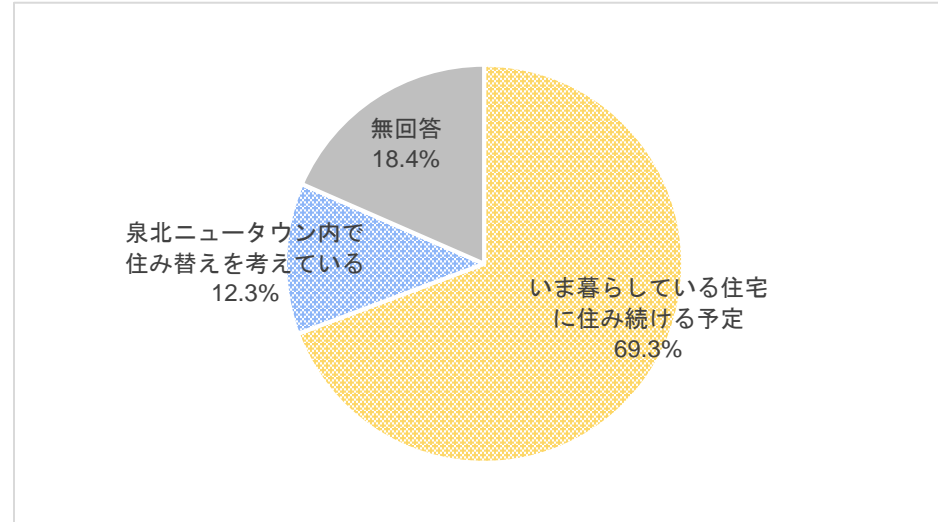
【問 8-2】 泉北ニュータウンにはずっと住んでいますか（％）



【問 9】 泉北ニュータウンで今後も暮らしたいと思いますか（％）



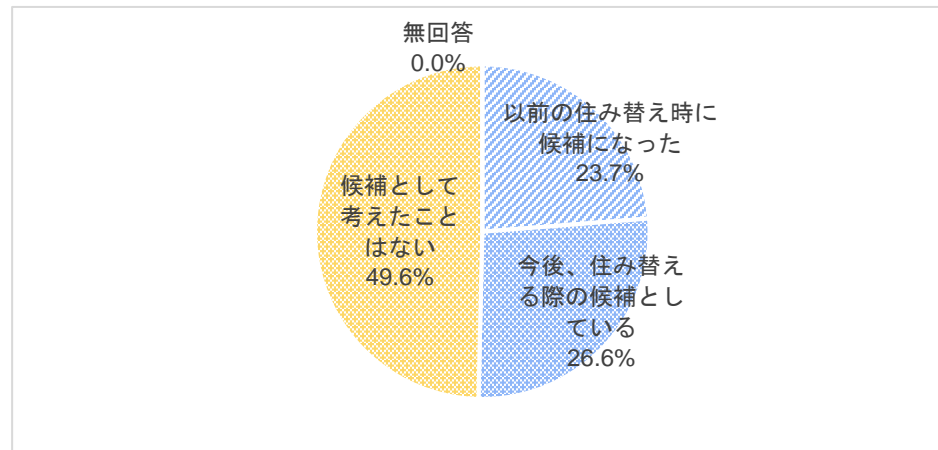
【問 10】 泉北ニュータウンで今後も暮らすなら、次の項目のうち、どれに該当しますか（％）



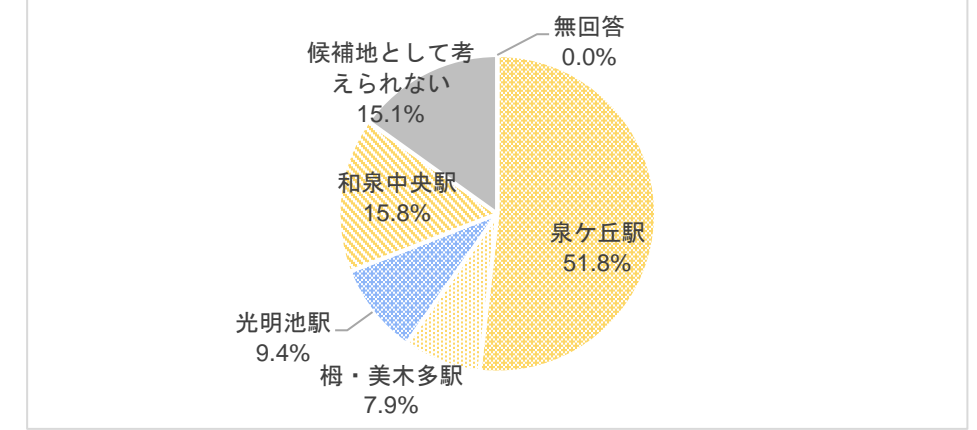
●基礎情報（泉北ニュータウン外の在住者のみ回答）

泉北ニュータウン外在住の回答者の総数は 138 人

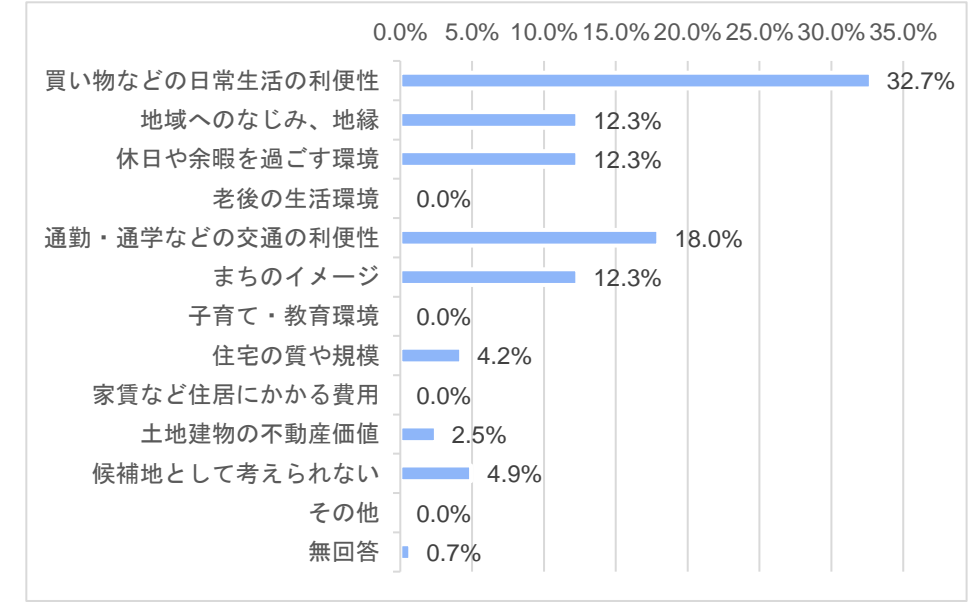
【問 11】 泉北ニュータウンは住み替え先の候補となりますか（％）



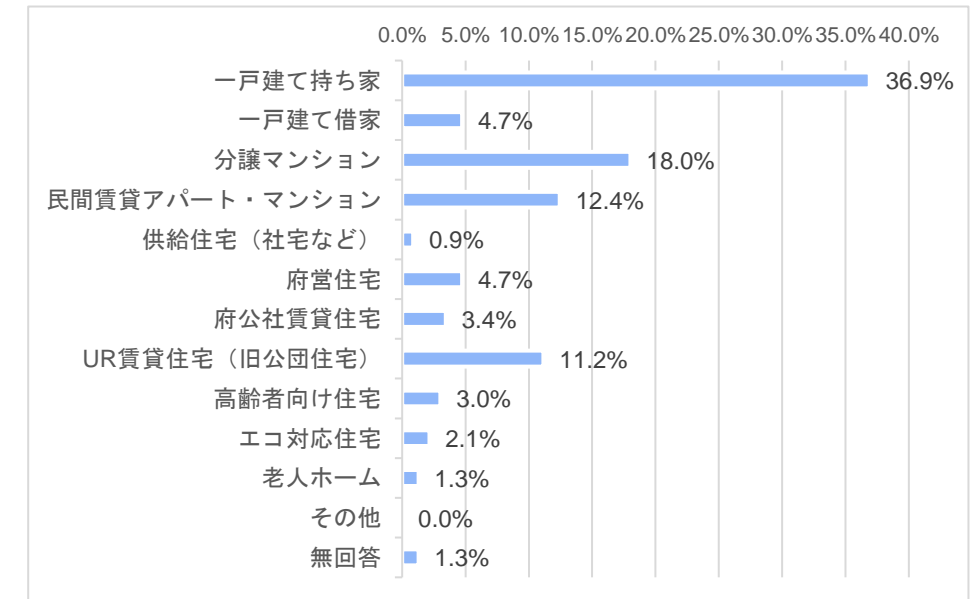
【問 12】 泉北高速鉄道沿線に住み替えるならどの駅周辺を候補地として選びますか（％）



【問 13】 候補地になる理由をお選びください（3つまで回答・％）

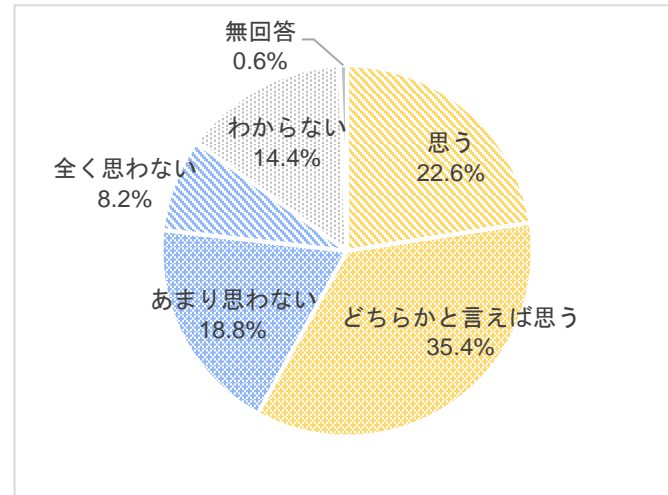


【問 14】 仮に泉北ニュータウンに住み替えるとした場合、住み替え先の候補となる住宅の種類を教えてください（複数回答・％）

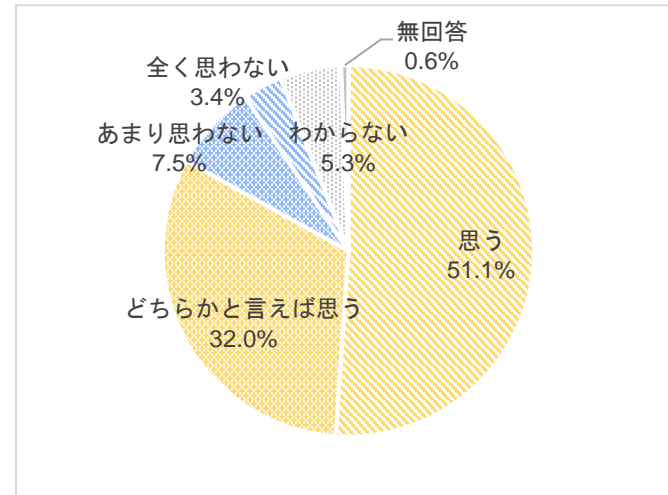


●現指針の取り組みについて

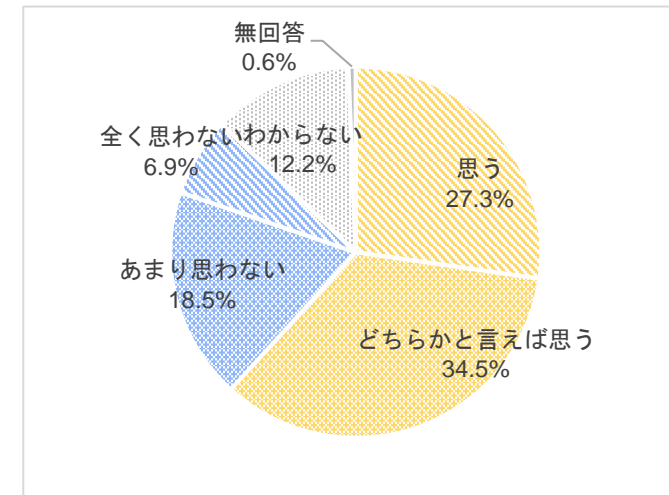
【問 15】 取り組み 1：多様な年齢階層がバランスよく居住するまちとして、多様な住宅や交流の場を整備する
よくなったと思いますか（％）



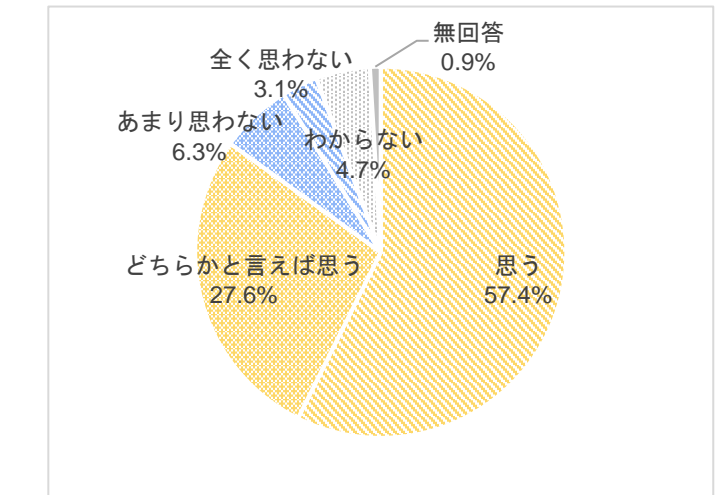
重要だと思いますか（％）



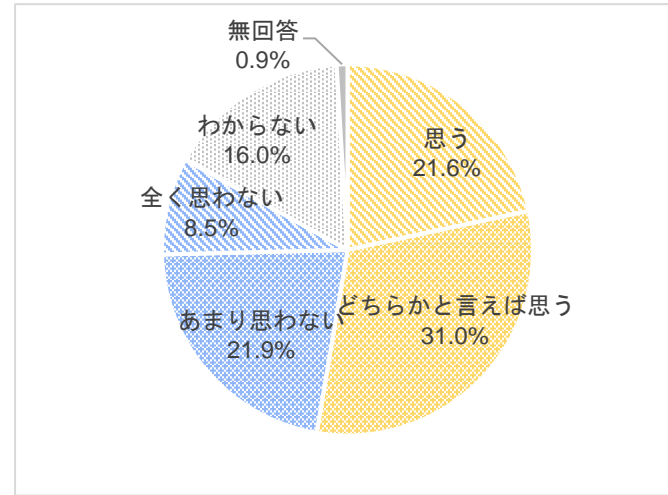
【問 18】 取り組み 6：高齢者をはじめ誰もが安心して暮らせる環境を整備する
よくなったと思いますか（％）



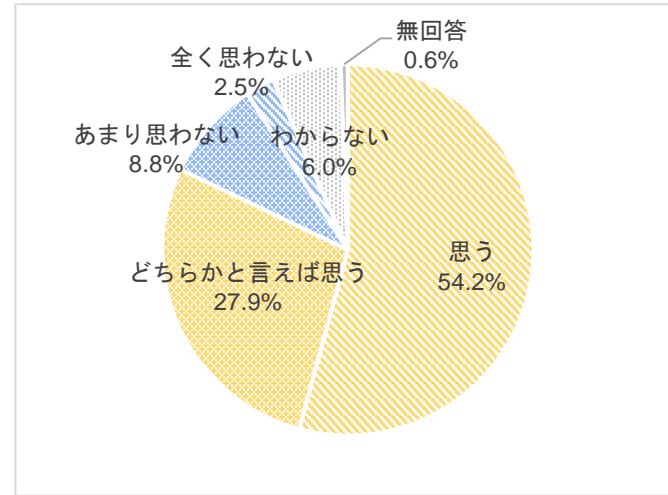
重要だと思いますか（％）



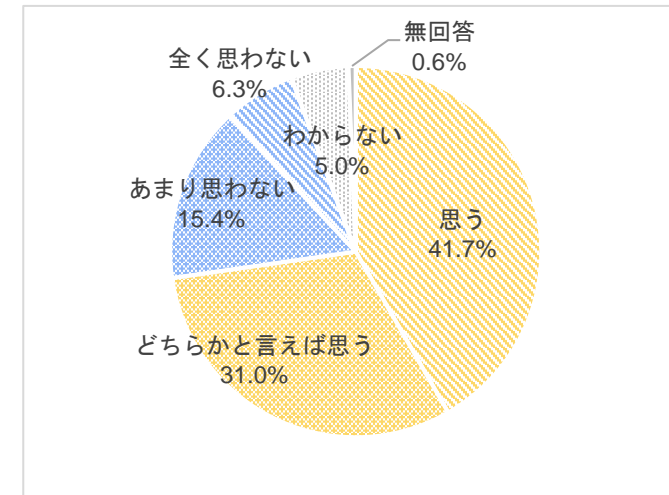
【問 16】 取り組み 2：身近な範囲に、暮らしを支える多様な機能の配置を誘導する
よくなったと思いますか（％）



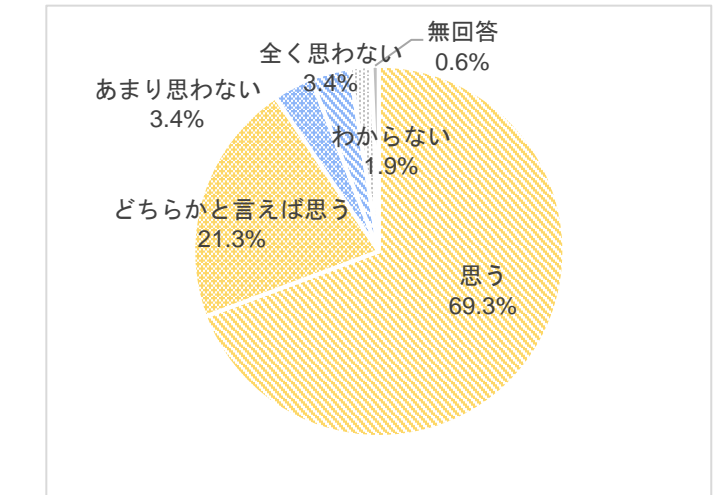
重要だと思いますか（％）



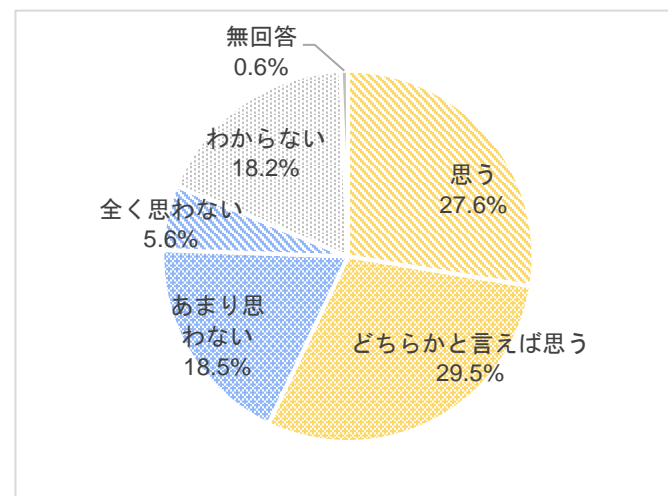
【問 19】 取り組み 7：地区センター（駅前地域）・近隣センターを人が集まる場所として機能強化をはかる
よくなったと思いますか（％）



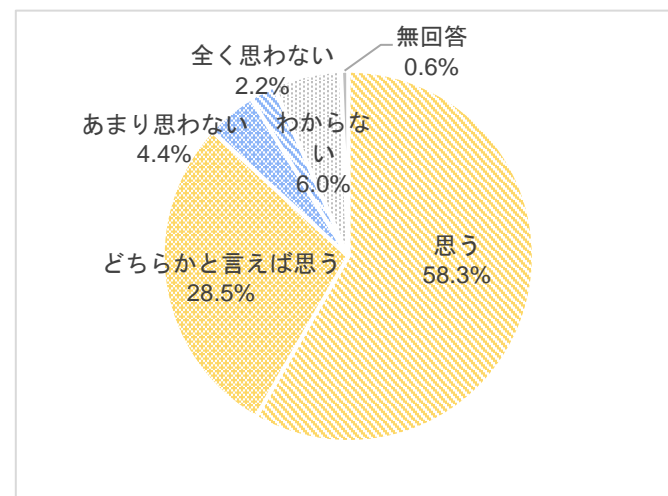
重要だと思いますか（％）



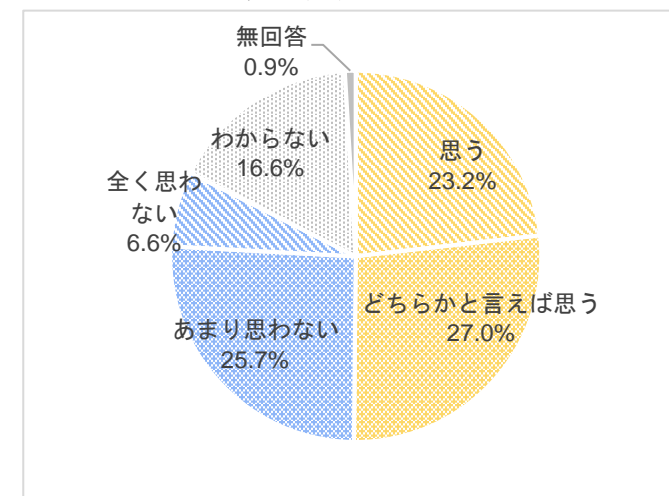
【問 17】 取り組み 3：子どもの笑顔があふれるまちとして、子どもの教育・育成環境の向上をはかる
よくなったと思いますか（％）



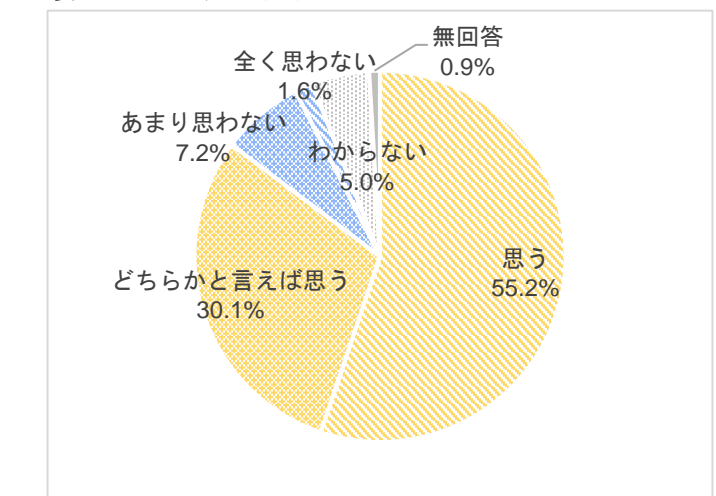
重要だと思いますか（％）



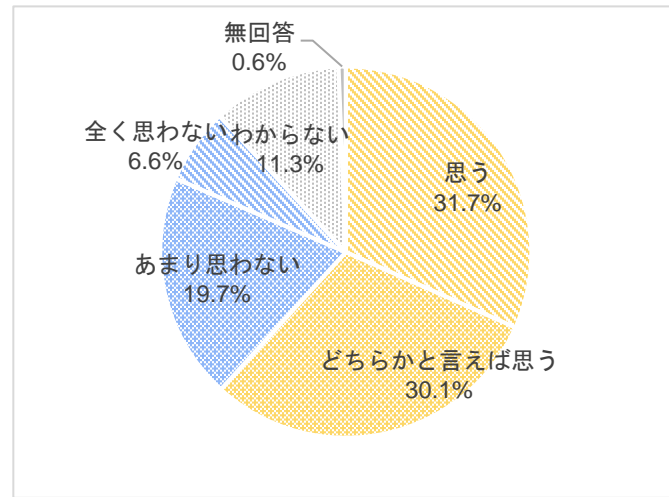
【問 20】 取り組み 4：既存施設の積極的な活用や適切な管理を進める
よくなったと思いますか（％）



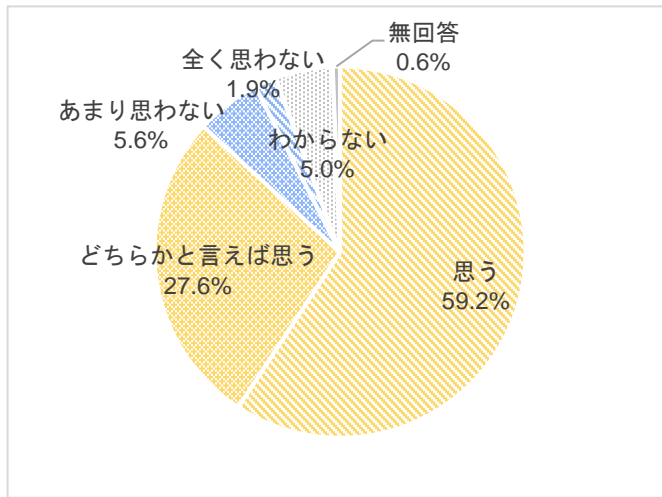
重要だと思いますか（％）



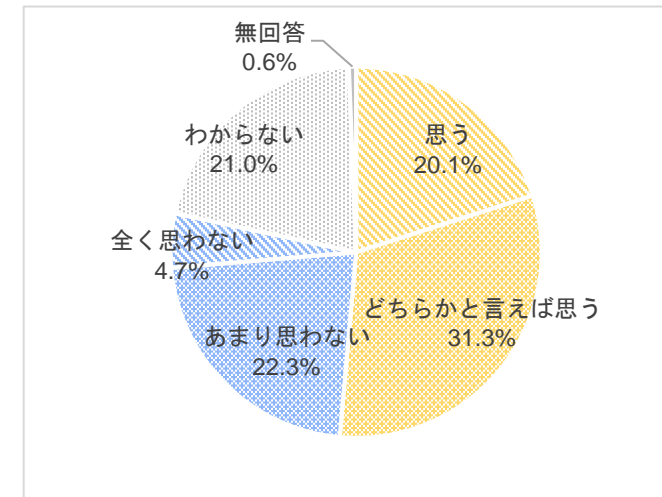
【問 21】 取り組み 5：ゆとりのある郊外居住を実現するまちとして、緑豊かな住環境と自然や農に触れる環境を整備
よくなったと思いますか (%)



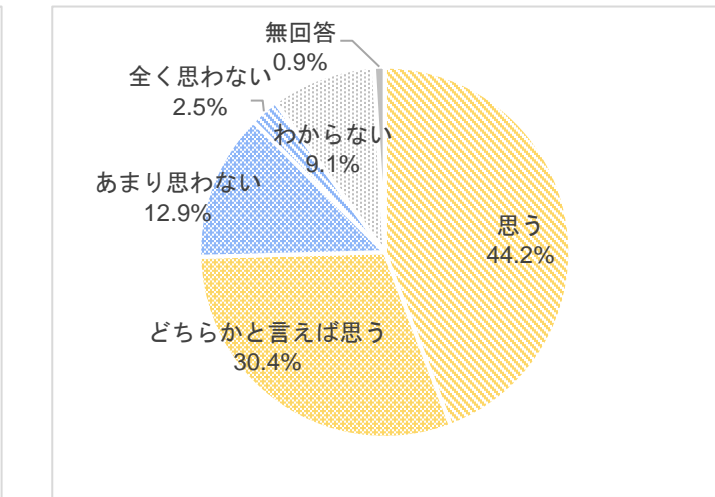
重要だと思いますか (%)



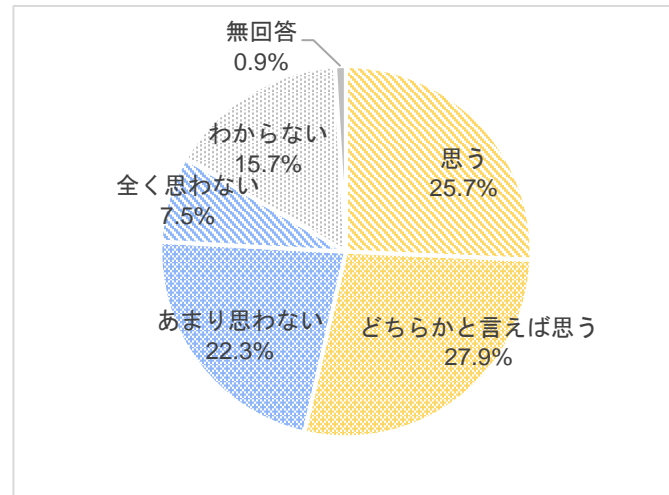
【問 24】 取り組み 10：まちに関わる人たちのパートナーシップによる、主体的なまちづくり活動を促進する
よくなったと思いますか (%)



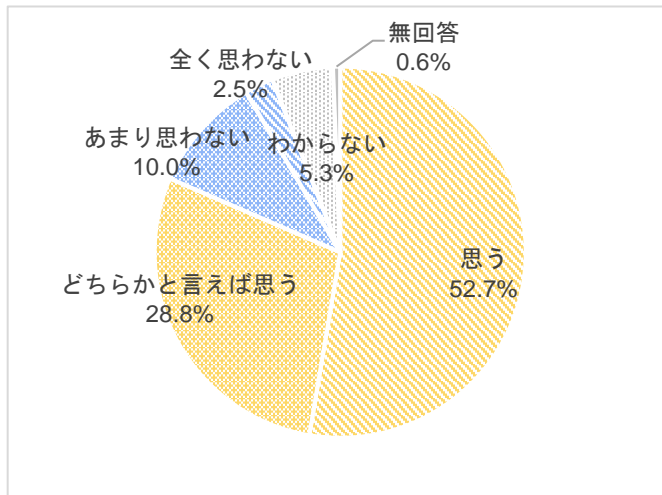
重要だと思いますか (%)



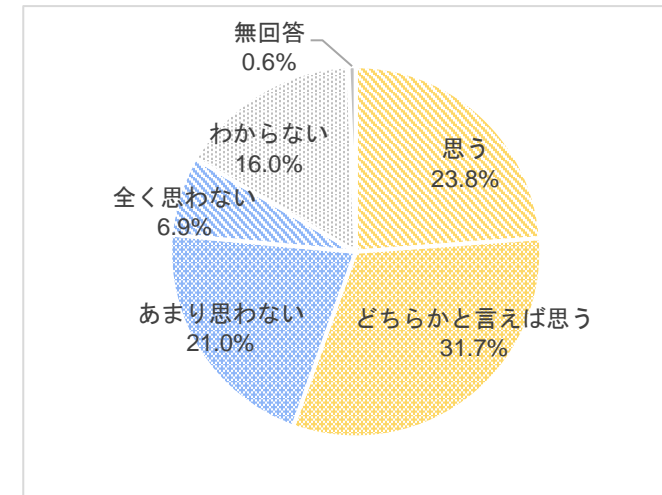
【問 22】 取り組み 8：地球環境にやさしいまちづくりを進める
よくなったと思いますか (%)



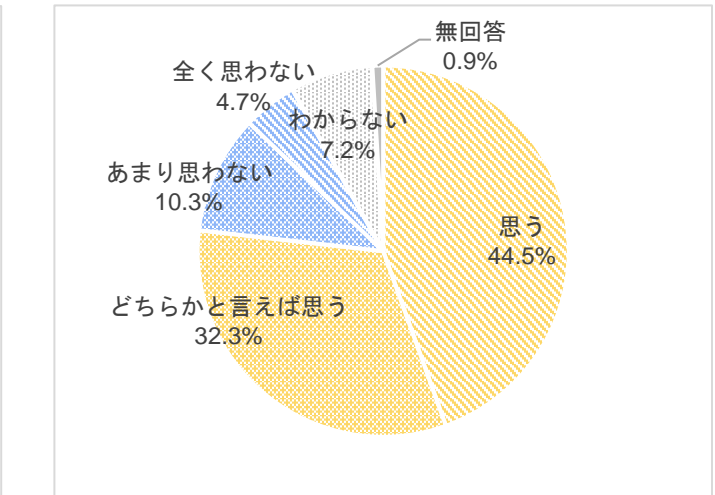
重要だと思いますか (%)



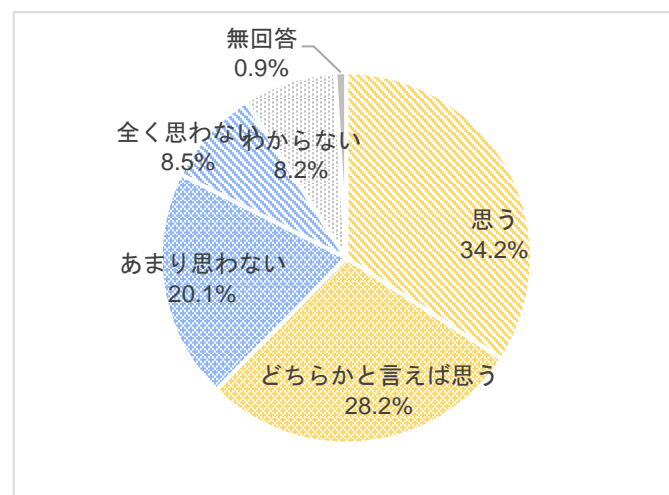
【問 25】 取り組み 11：泉北ニュータウンのまちの魅力や暮らし方を「泉北スタイル」として発信する
よくなったと思いますか (%)



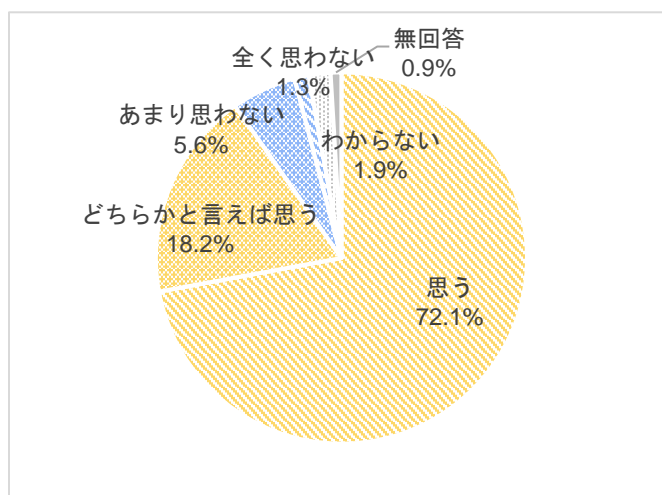
重要だと思いますか (%)



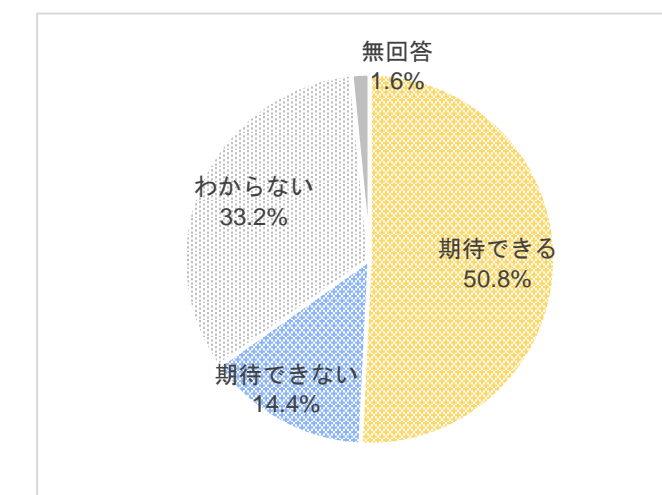
【問 23】 取り組み 9：公共交通体系の維持・充実化及び利用促進をはかる
よくなったと思いますか (%)



重要だと思いますか (%)

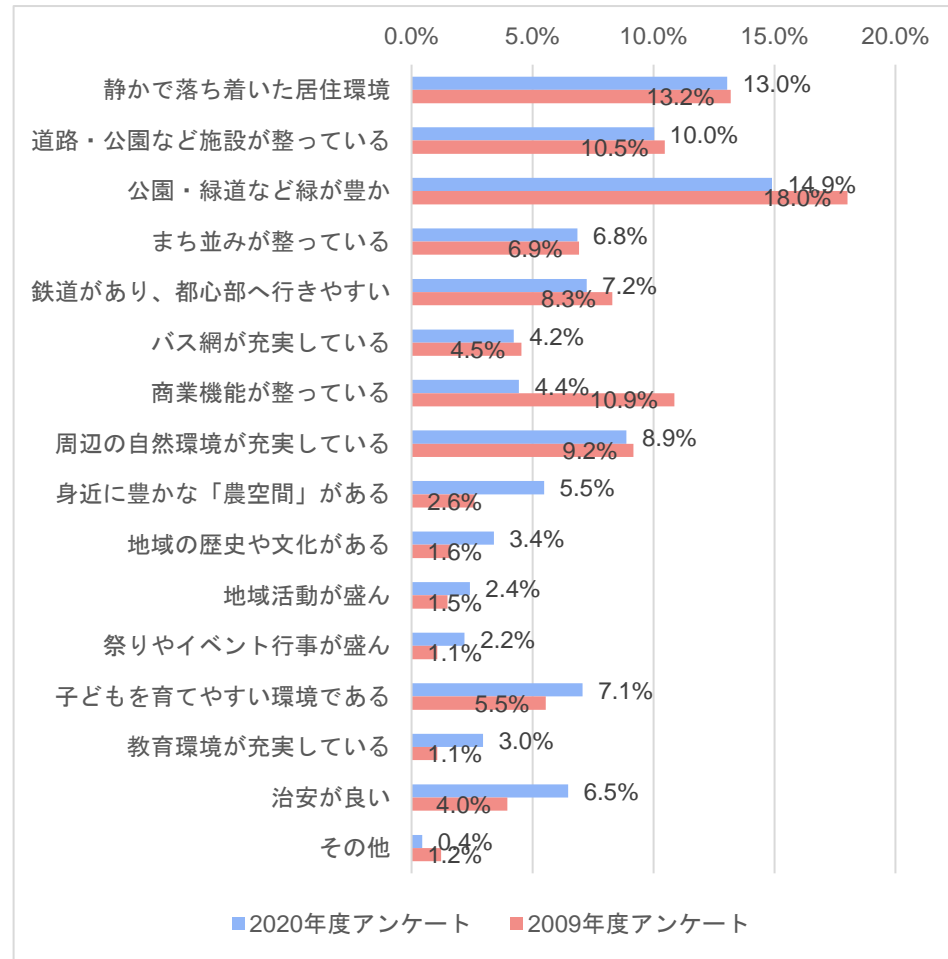


【問 26】 「グランドデザイン 2040」に掲げた次世代のニュータウンに期待できるか (%)

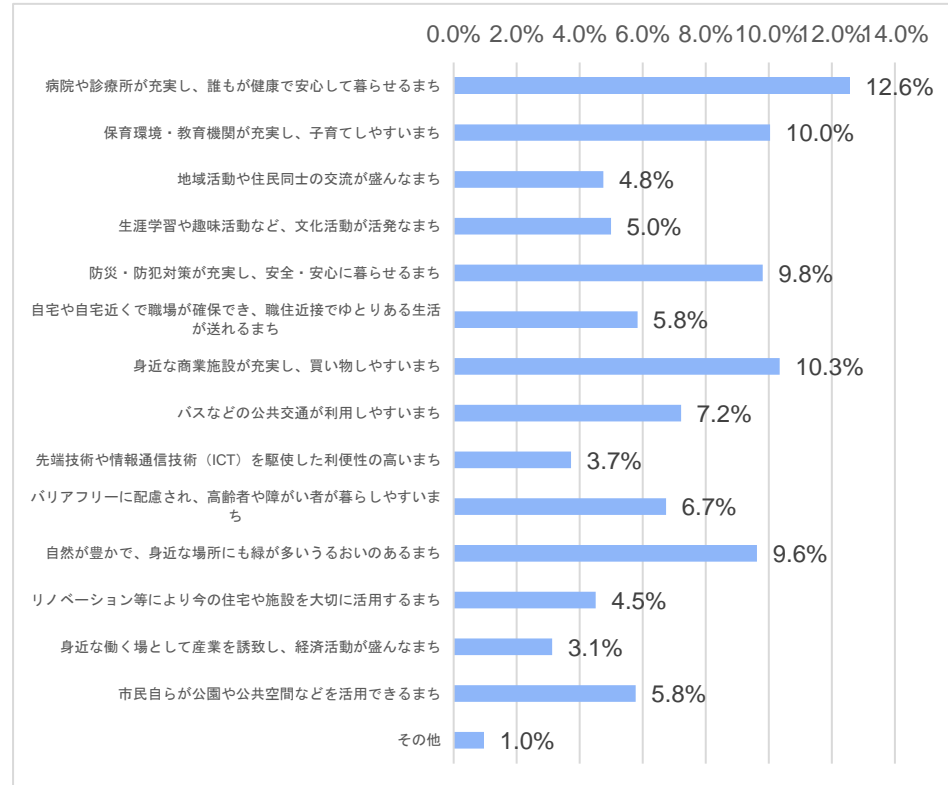


●泉北ニュータウンの魅力について

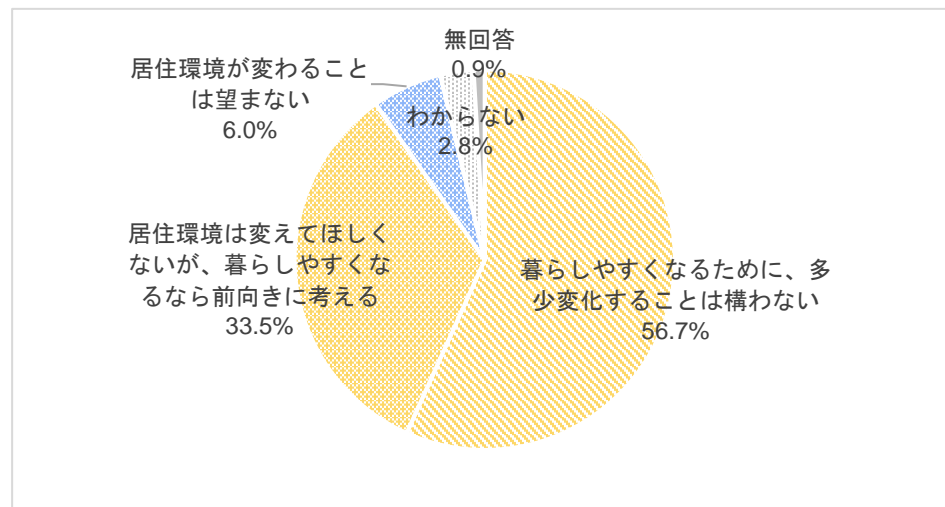
【問 27】 魅力を感じるもの（複数回答・%）



【問 28】 今後どのようなまちが望ましいと思いますか（5つまで回答・%）

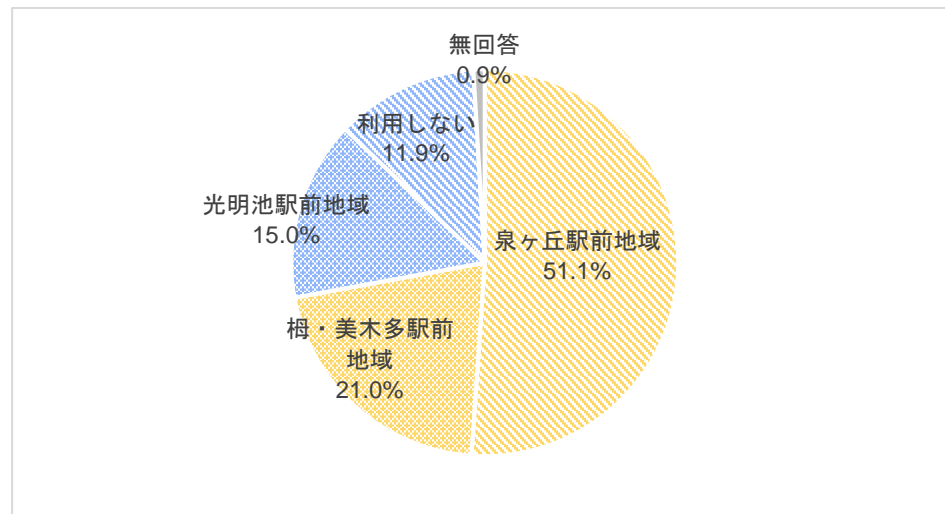


【問 29】 問 28 のまちを実現するために、お住まいの居住環境や生活様式について、どう思うか（%）

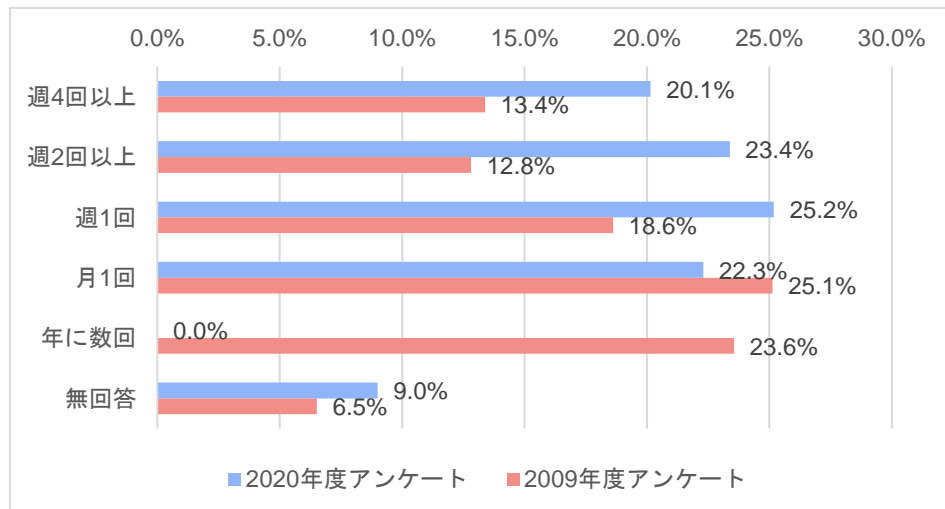


●地区センターについて

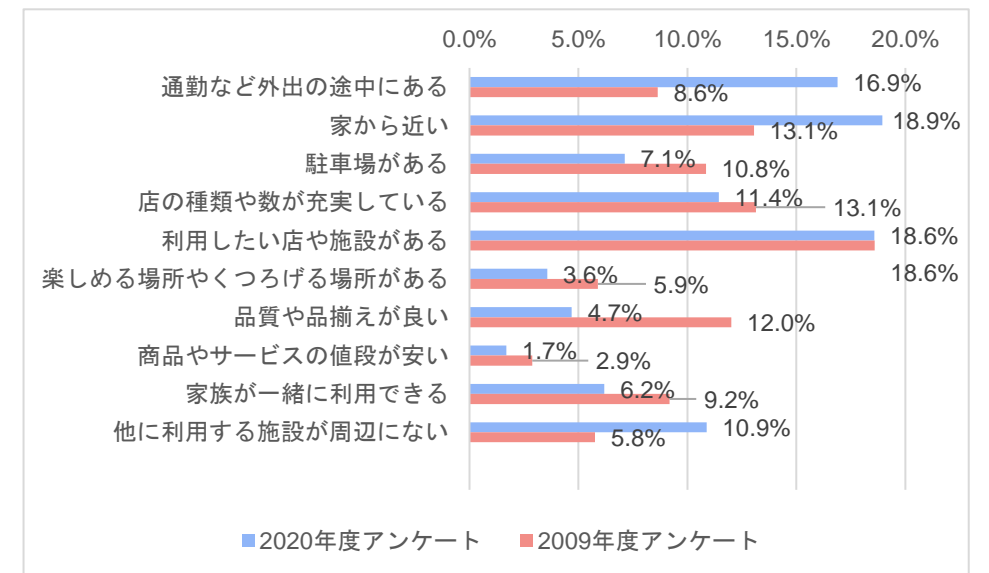
【問 30】 よく利用する駅前地域（%）



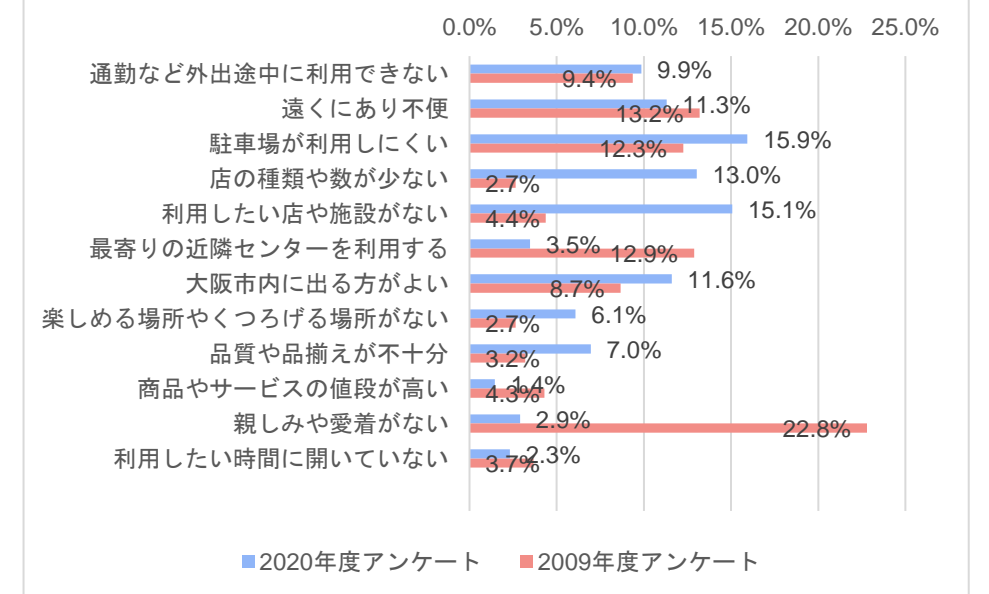
【問 31】 利用頻度（%）



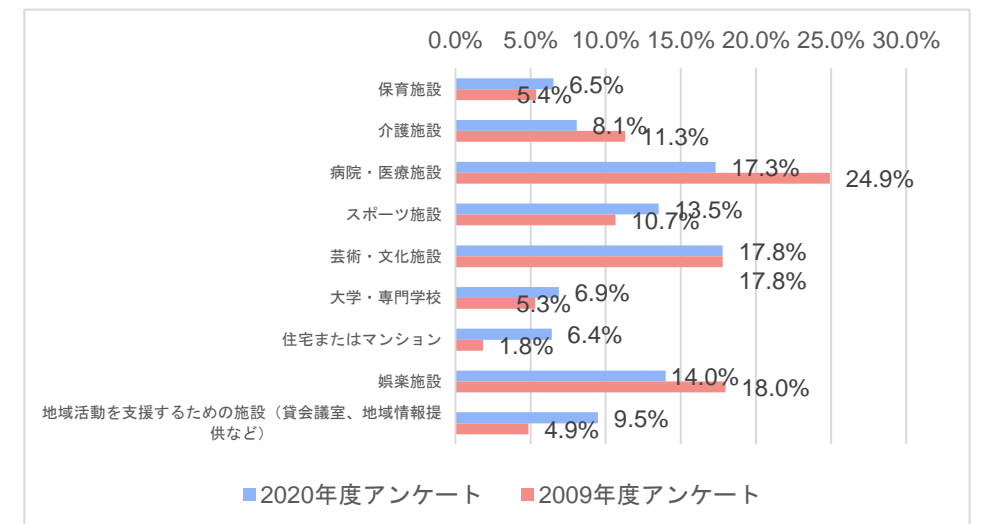
【問 32】 利用する理由（複数回答・%）



【問 33】 利用しない理由（複数回答・%）

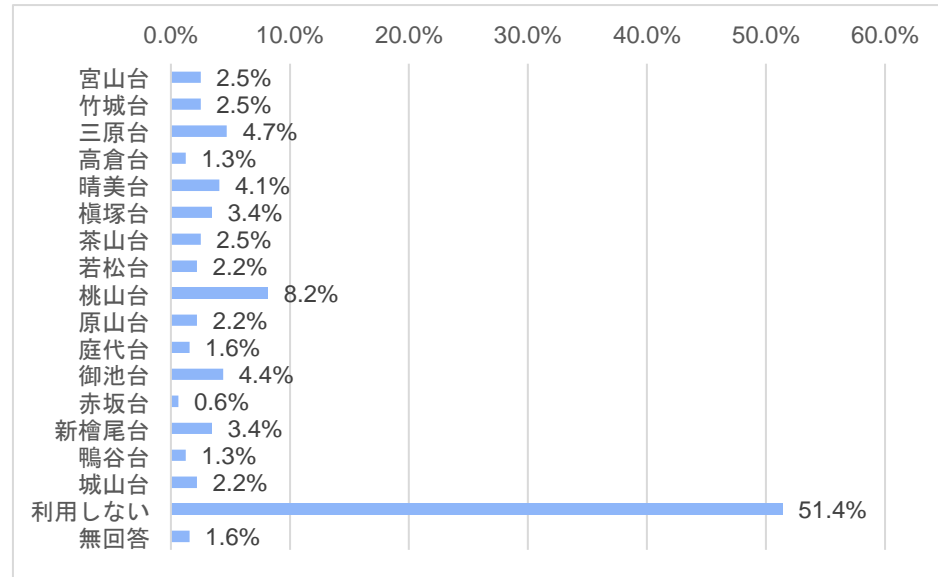


【問 34】 充実を望む施設（複数回答・%）

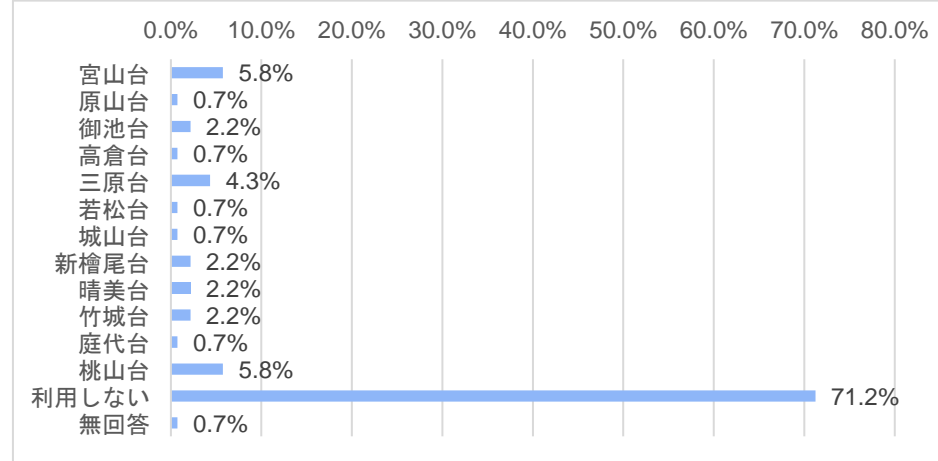


●近隣センターについて

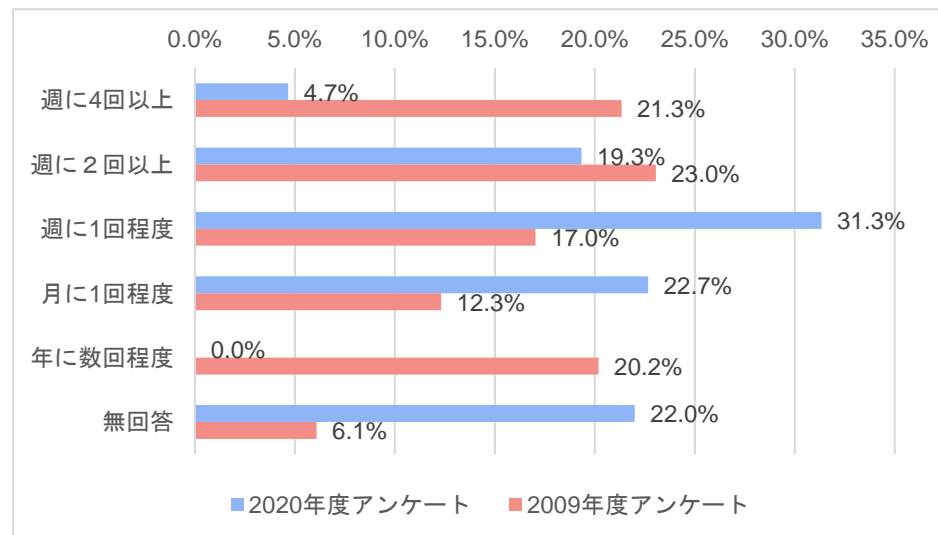
[問 35] よく利用する近隣センター (%)



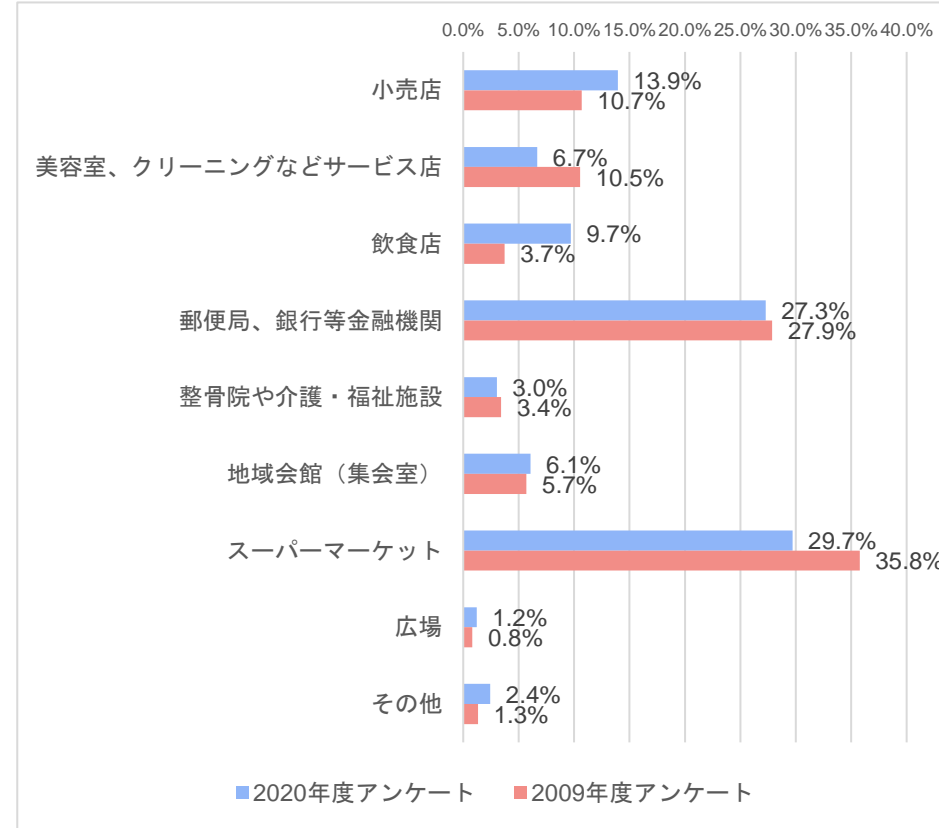
(泉北ニュータウン在住者のみの場合・0%を除く)



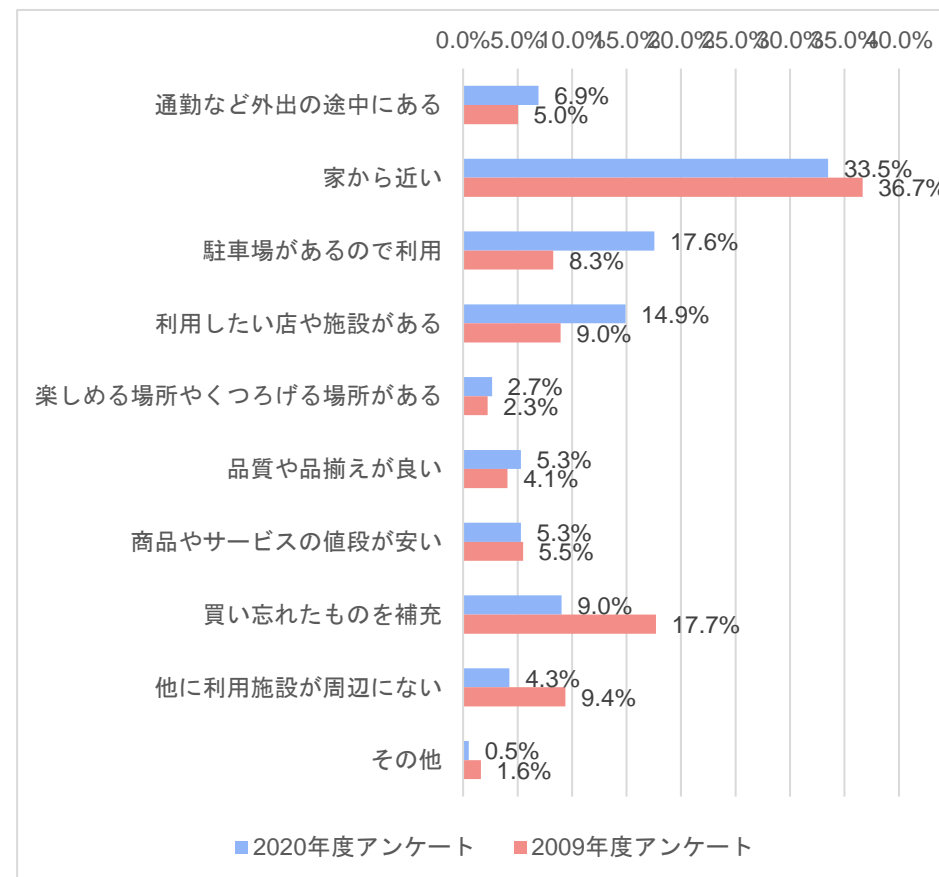
[問 36] 利用頻度 (%)



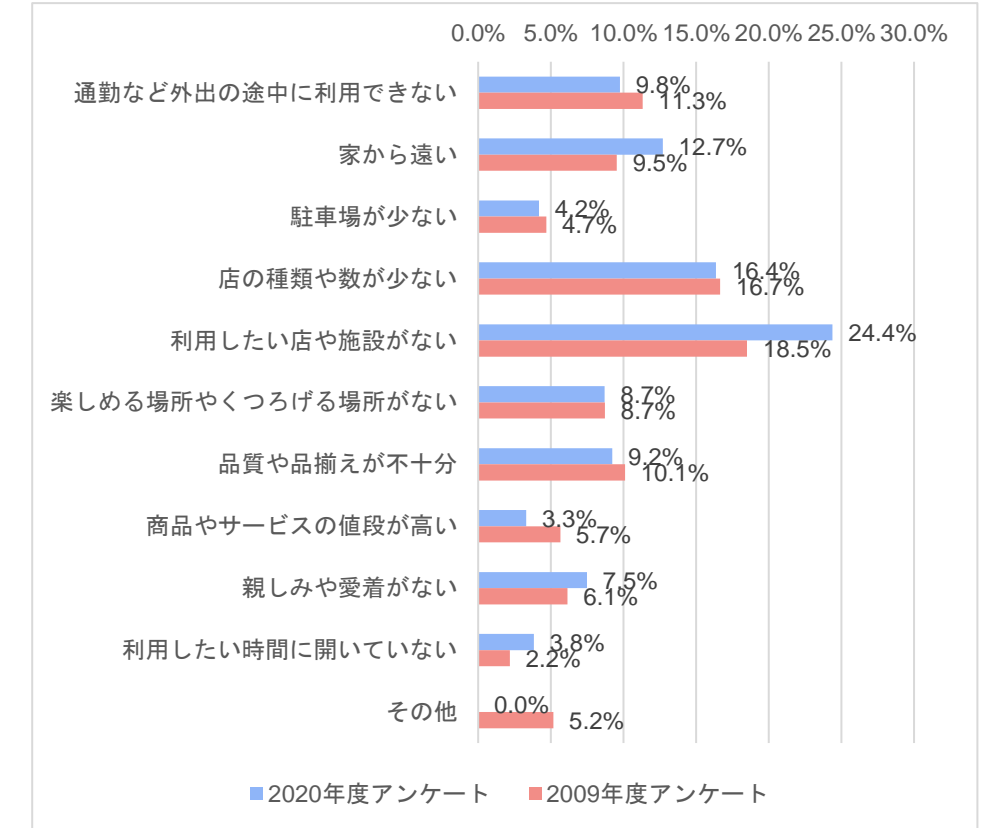
[問 37] 利用する施設 (複数回答・%)



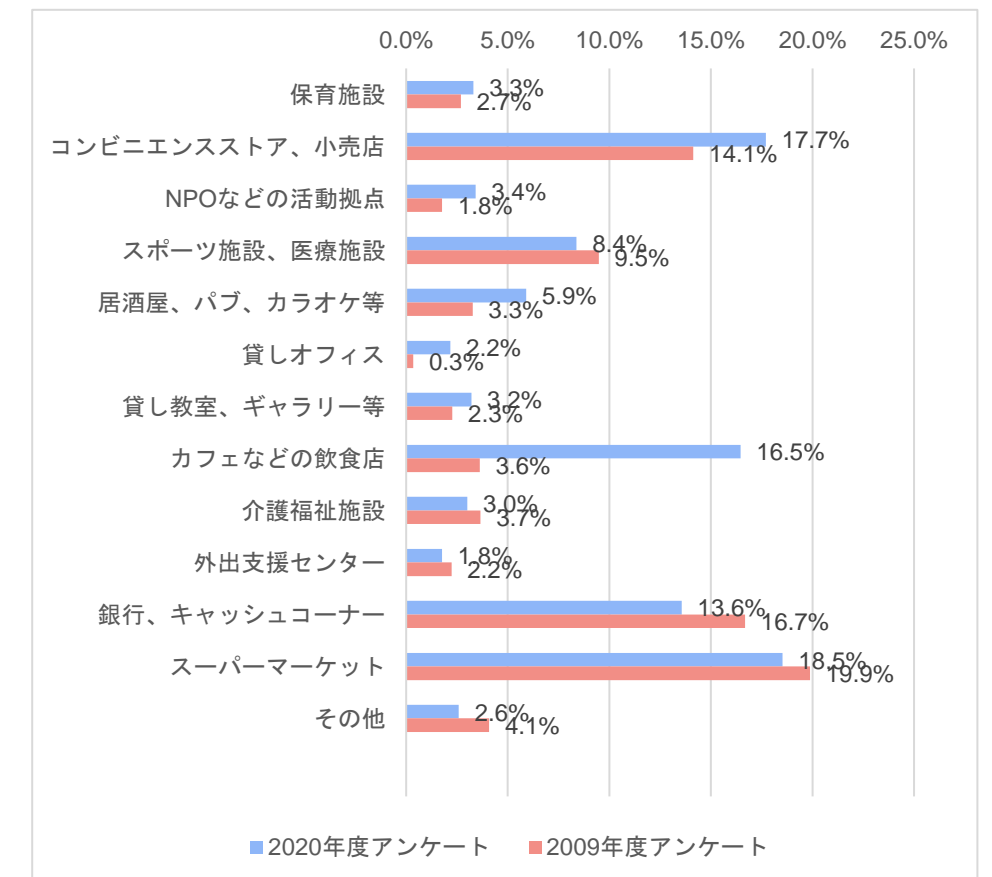
[問 38] 利用する理由 (複数回答・%)



[問 39] 利用しない理由 (複数回答・%)



[問 40] 近隣センターや徒歩圏内に充実を望む施設 (複数回答・%)



【問 41】新型コロナウイルスの影響による、泉北ニュータウンでの生活様式に変化はありますか。また、今後に期待することはありますか

○アンケートの傾向

コロナによる自粛により、買い物が不便になったことや、対面でのコミュニケーションができないなどが挙がっている。一方で、公園や緑道などの豊かさを再認識したといった意見も多く挙げられている。以下、主要な回答を抜粋。

●買い物・商業・飲食

- ・ 家から出ないことが増えて気づいたことはスーパーやコンビニ等の食品を扱っている店しか近くになく通販に頼りきりだった
- ・ よく利用していた店舗の閉店により不便となったが、ネットでの買い物が増えた
- ・ 飲食店の利用が減ったので、地域の農産物直売所へ足を運ぶことが多くなり、駅前での買い物は激減した
- ・ コロナウイルス感染拡大防止のためとはいえ、元々商業施設が多くある泉ヶ丘駅周辺がいきなり1ヶ月以上軒並み休業ばかりになると流石に不便だと感じた。高島屋が休業していてもパンジョは営業するなど、ある程度元の状態との差を小さくしてほしい
- ・ 電車に乗ることをためらうため、買い物を最寄り駅で完結させることが増えた
- ・ 近隣センターの店舗も多くが閉店してしまい、買い物等に支障がある状態
- ・ テレワークで仕事することになり、お昼に外出して自宅周辺を散歩することが多くなった。しかし、あまり外食をしたり、出前を取る店が少なく選択肢を増やしてほしいと思った

●都市経営

- ・ 一斉に駅周辺店舗、公共施設など閉めて利用できなかったが、右にならえで、全く閉める必要性はなかったと感じる。今後は、地域地域で判断し、小さなエリア、限られたエリア内で、コロナに注意しながら、いろいろなものを回していくことを優先的に考えた方がいいと思う

●医療

- ・ 今後の感染症対策を考えたとき、基幹となる医療施設(検査及び治療)の誘致に期待

●防疫

- ・ 建物内でのマスク着用、手指の消毒の徹底。継続的な感染予防意識
- ・ 手頃な値段でマスク購入ができない
- ・ ソーシャルディスタンスを守れて衛生面に配慮した場所、施設
- ・ 施設、店舗ではマスクの正しい着用を義務づけて欲しい

●情報発信

- ・ 正しい予防方法の普及のための広報活動

●外出

- ・ 散歩をするようになった
- ・ 通勤や買い物などに出る人が減っているように感じる
- ・ 駅前に行くことが本当になくなった

●緑道・公園など屋外空間

- ・ 緑道のジョギングやウォーキングする人が増え、夜道に活気が出た
- ・ 治安、夜道照明
- ・ 緑道を散歩する時もマスク着用
- ・ 家にいることが増え、居住環境の良さに改めて気づいた。静かさや緑が多いのはかなり重要で賑わいを無理に作り出す必要はない
- ・ 公園、緑地の大切さが再認識された。早朝から多くの人が散歩やジョギングなどで利用していた
- ・ ソーシャルディスタンスを保ちながら集える公共空間の大切さを改めて感じた
- ・ 自粛期間中は密にならず運動が出来る環境で過ごすことが出来た。緑道、陶器山の魅力発見できた
- ・ 泉北は緑道や公園が充実した素晴らしい街で、自粛期間中も運動しやすい環境と改めて感じた
- ・ 運動不足解消のため緑道でランニングをすることが増え、歩車分離された緑道の快適さを実感。ニュータウン内だけで暮らせるコンパクトな街を保ち続けてほしい
- ・ 旧村の雄大でゆとりある環境に注目するようになった

●交通

- ・ コロナで在宅勤務が進んだため、ダイヤ改正で路線バスの本数が減少した。接続が悪くなったため毎日の通勤に要する時間が長くなり、働く世代には、駅から遠い郊外に住みにくくなっている

●コミュニティ

- ・ 散歩をする人が増え、まちと住民が交流できるチャンスに感じる
- ・ 高齢者が出かけたり会話したりすることができず、困っていそう

●地域行事

- ・ 地域活動の自粛
- ・ 集会場での行事の減少

●子ども

- ・ 子供に対しては、マスクで炎天下の通学などかなりの我慢を強いてきている。少しでも子供らしく学び遊べるよう、子供達に希望を聞いて実現させて欲しい
- ・ 外遊びする子どもが減り、さらに活気がなくなった

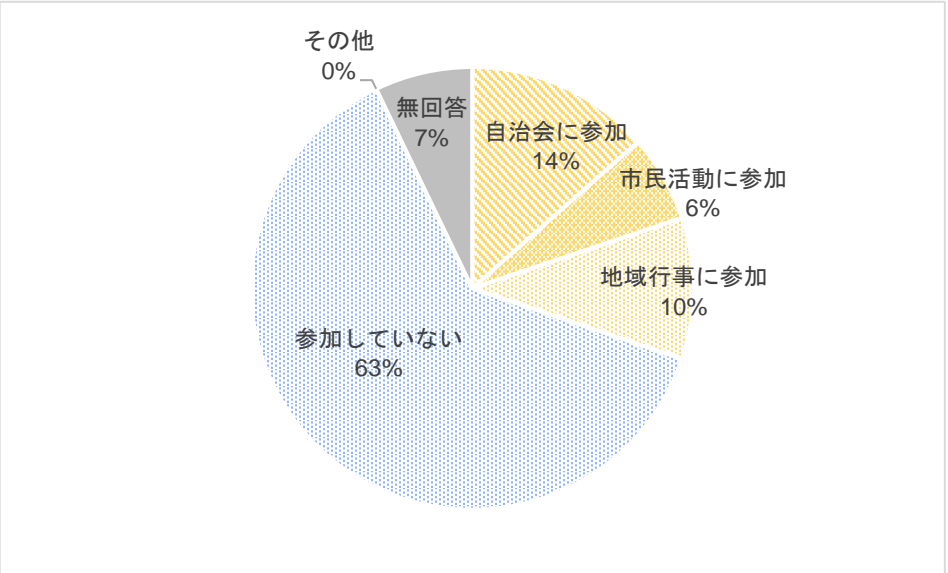
●働き方

- ・ 在宅勤務、時差出勤になった
- ・ リモートワークが主流になり、職場（大阪市内）に行く頻度が減った
- ・ テレワークなどに対応したコワーキングスペースやシェアオフィスがほしい
- ・ 職住接近を実現できるシェアオフィス
- ・ 空き家利用の貸しオフィス、テレワークや企業誘致
- ・ 大型のコワーキングスペースを確保してほしい。場所としてはビッグバンを改装
- ・ テレワークが増えたことによって通勤の不便さは感じなくなり、広い居住空間や自然の豊か、遊歩道の充実といった泉北ニュータウンの魅力を再認識した

●移住

- ・ 職住近接が進み都心で仕事をする必要がなくなったため、住環境を求めて移住を考える都市部の人が増えるため、街を活性化させる千載一遇のチャンスだと思う

【問 42】泉北ニュータウンにおける、まちへの取り組みについて参加しているものはありますか（複数回答・%）



【問 43】あなた自身が泉北ニュータウンで新しく始めたいと思っていることがあれば、教えてください。

○アンケートの傾向

個人レベルでの趣味の充実(ものづくり、音楽、観光)、まちへの参加(市民活動、情報発信)、福祉への参加が見られた。以下、主要な回答を抜粋。

●DIY・ものづくり

- ・ 茶山台団地の1日DIY講習会に参加してみたい
- ・ 陶邑の歴史を感じられる陶芸に関する活動

●行事、イベント

- ・ フリーマーケットやマルシェ

●緑道・公園

- ・ 生まれ変わった大蓮公園を一度利用してみたい
- ・ 公共施設の利活用。例えば公園の維持管理にもっと周辺住民が関わる仕組み
- ・

●農業・生産

- ・ 家庭菜園等
- ・ 泉北レモンをはじめ、他にも農産物を泉北の特産品にできればと思う
- ・ 泉北でとれた素材を使った酒造

●スポーツ

- 原山台ジムへの参加

●飲食

- 外食はできるだけ泉北エリアを利用したい

●起業、団体立ち上げ

- 様々な場面で行われている地域活動の情報を一元管理して広く発信する組織の創設
- 事業所開設(それには空き施設の積極活用や駅前・駅ナカの活用が必要)
- 地産地消カフェ兼ワーキングスペース

●子育て

- 絵本喫茶
- 子どもの運動指導を拠点とした子育て支援の情報ネットワークづくり

●情報発信

- 泉北ニュータウンの風景を写真として記録として残したい
- 泉北ニュータウン周辺の写真や映像をつくり発信しようと思っている

●地域活動

- 地域の有志による地域活動

●動物

- 地域猫活動等、動物愛護活動への協力

●近隣センター

- 近隣センターの空き店舗を格安で借りられるような制度など有れば活用したい

●福祉

- 高齢者が自宅付近を拠点に住み続けられるような(民間)支援事業
- 介護施設、ショートデイのボランティア

【問 44】 その他、泉北ニュータウンについてのご意見などがあれば、ご自由にご記入ください。

○アンケートの傾向

若い世代を呼び込むような住宅づくりや子育て・学びの環境づくりについての意見が挙げられている。また働き方の面においては、企業の誘致や働く場の見直しについての意見が見られた。交通については、泉北高速鉄道の乗車料金が高額だということや、バス利用の不便さがある。近隣センターについては、衰退が見られるので転用の可能性についての意見が見られた。以下、主要な回答を抜粋。

●アンケートに対して

- ニュータウンの再生に対する取り組みは全て実行すべき内容だと思った。しかし、その成果がどの地区で恩恵を受けているのかについては疑問が浮かびます。特に今

回のアンケート内容も事例の多くが泉ヶ丘地区に偏っている傾向があると思う。取り組みのなかに相互性のないことがいくつか含まれていることも疑問に思う。泉北ニュータウンが他の町に対して誇りに思う点が地域コミュニティと緑の多さだと思っている。この2点を他の町に負けないように強化していただけると泉北ニュータウンに住むものとしてとても嬉しく思う

●行政、施策評価

- 今後は、若い世代、ミドル世代等、幅広い人が繋がりを持って生活が出来るまちづくりにより、邁進して行って欲しい。今有るこの泉北は、行政の方々と堺住民の方々の取り組みの積み重ねの結果がこうして、実って来たのだと思っている
- 50年間、市は何をしてきたのか。人口減少、少子高齢化は先をみどうしていたはず。近隣センターはさびれている。街の活性化は期待できない。思いきった施策にしなければ、いずれ誰も住まない街となる
- 計画実施後に必ず「費用対効果」をチェックし、計画が妥当だったのかを確認し市民に情報を開示し知らせること
- 実際に住んでいる一般市民の声をもっと聞いて下さい

●若年層が住みやすい環境づくり

- 高齢者の割合がとて高くなってきているが、もっと若者が集まり活気のある街にして欲しい
- 若い世代が移り住みたくなるような環境、おしゃれな店があったり、バーベキューができたり、休日を楽しく過ごせるような環境を整備して、若者を増やすことが大事かと思う
- 若者ばかりに目を向けるのではなく、若者たちが老後も過ごしたいと思えるまちづくりに期待
- 地価が高過ぎるので、子育て世代の収入では、住みたくても住めない
- 団地などの活用方法として、新卒などの若者に安く提供していただけるとこの地域に住み続けると思う。ずっと家族で住んでいたが一人暮らしがしたいので泉北は出ていくと思う。泉北は好きなので安く住めるところなどがあれば実家の近くに安心して住めると思う。
- 結婚して住み始めたが、宮山台周辺は何かにつけて不便

●まちのブランディング

- 泉北ニュータウンの地名の変更
- この街をより輝かせるためには、他の街との差別化・差別化が必要だと思う。既に組み込まれているようにブランド化は特に重要だと思います。要は住みたくなる街。公園と緑は最大の武器になる。いい特徴があれば人は勝手に集まってくる。
- 若い世代への魅力ある街づくりや PR が道半ばであると感じる。泉北ニュータウンで育った高校生、大学生、独身世代などのプレ子育て世代が地域に新鮮な魅力を感じるようになれば、将来的に子育てをする場所の候補地にもなり、リターン定住する人も増えるのではないかと思う。泉北ニュータウンは「一戸建て・ある程度生活に余裕のある核家族や高齢者が暮らすまち」のイメージが強く、単身者が賃貸等を探すときに候補にしづらいと感じる。近年、団地へのクリエイター居住促進やレモン植樹を広める運動、泉北スタイルの取り組み等、「イメージ刷新」に向けた動きがありとても良いと思う

- 泉北ニュータウンの魅力は、何といっても豊かな自然や田畑に囲まれた良好な居住環境。車道を渡らず安全にニュータウン内を移動できる緑道もすばらしいアイデア。
- 50年余り住み慣れ安らかに眠る環境を願うばかり。
- ほどよい余白・緑や農を楽しめる環境に加えて、地域内物流網や交通網が整備されれば、車が要らないエコノミー・エコロジーな街になると思います。シェアサービスやシェアスペースがもっと広がってほしい
- 「自然の良さ」以外でほかの区（堺市内）と差をつけられていないと感じます。
- 泉ヶ丘は駅から離れた街中に素敵なカフェがなさすぎ。散歩してあちこち巡る楽しみがほしい
- そもそもどこからどこまでが泉北ニュータウンなのかわからない

●公共施設

- 泉ヶ丘駅前に市役所の分室が必要。これほどの規模でありながら住民票や戸籍謄本をとるために電車やバスを何度も利用させられるのは納得いかない
- 区役所は梅・美木多にしかないのは生活する上で不便だと感じている。可能であれば、泉ヶ丘センタービルなどでもいいので区役所の市民センター(住民票写しなどが発行できるなど役所の機能をもった場所)を作ってほしいと思う
- 図書館を和泉市のシティプラザ図書館のようにして欲しい
- 文化施設が増えて、文化活動がもっと盛んになってほしい

●地区センター

- 泉ヶ丘駅前広場の整備、梅・美木多の駅前商業施設開業により確実に住み良くなったと感じるが、梅・美木多駅前ロータリーには低床式でない南海バス車両が来ており高齢者の乗り降りにかかり時間がかかっていた。光明池駅前商業施設の再開発を次はぜひ推進してほしい。泉北ニュータウンの魅力としては、北摂には無いゆとりある静かで整然とした街区があること、住宅地にも豊かな緑が計画的に残されていること、泉北ニュータウンは高齢化が進みながらも少しずつではある
- 泉ヶ丘駅上のホテルや松本零士の施設が全く有効に活用されていない。駅直結の便利な場所にありながら人通りがなくいつも閑散としていて、もったいなさ過ぎる
- 駅前開発の際は、今の地域らしさは最低限残してほしい

●近隣センター

- スーパーの相次ぐ撤退など、近隣センターの荒廃に強い懸念を感じる
- 台によって近隣センターの機能に差がありすぎる所に問題を感じている。その為、近隣センターがまともに機能していない台ではスーパーやコンビニすら無く、高齢者が買物難民となり大変な思いをしている。医療関係についても同様
- 近隣センターの中庭を家庭菜園のできる貸し農園にすれば、収益にもなり、食料も確保でき、生活も豊かになるのではないか
- ニュータウン内には徒歩圏内で飲食できる店が少ない(規制の関係?)ので、もう少し店が欲しい。幹線道路沿いにはたくさんありますが徒歩では行けないので

●買い物・商業・飲食

- 居住地の御池台センターと近隣の庭代台センターのスーパーが無くなり、近くにコンビニもなく、高齢者が住める環境でないため、早期に移転をせざるを得ない。「未来の…」という課題以前の現実がある

- 大阪市内に出る方が品揃えが良い
- 駐車場の無料化か又は、利用時間を、長くする
- 商業施設をもっと充実させてほしい
- センスの良い雑貨店　ブティック、カフェやレストランが制限されているのか非常に少なくつまらない

●学校・学び

- 小中一貫校や ICT 教育が特に充実したモデル小学校の設立など、泉北ニュータウンで新しい教育関係の取組み
- 高校が何校かあるため、学生とコラボした企画を行う
- スマホなどもっと活用できるようなお勉強会を地域でできればいいですね

●経済

- 郊外型事業所や工場の誘致。就労人口が増えれば絶対街は活性化する

●緑道・公園など屋外空間

- 大蓮公園のような事業は大きく期待できます。郊外の良さを十分発揮した取り組みに期待している
- 緑道内にカフェやレンタルオフィス、レンタルスペースを作り、夜でも歩ける道にして欲しい。緑とランプの綺麗な緑道を、ドリンク片手に若い世代が散歩する街になればいいなと思う
- 緑道をリニューアルというよりは現状もしている雑草の草刈り等のメンテナンスを増やす方が、いつ来ても綺麗という環境も魅力も up すると思う
- 泉北ニュータウンは水で遊べる公園が無いので大蓮公園の水辺をもっとオープン使用できればと思う
- 各近隣センター間をつなぐ緑道等を充実させてほしい

●環境保護

- 街路樹や公園の緑の管理が無計画すぎる
- 公園、緑は先人の遺産。それを私たちは享受していた。これからの 50 年に向けて、そのような公園、緑を残したい
- 自然環境が魅力的なので将来に繋げて欲しい
- 人工的な開発ではなく　自然を維持し保持して利用すべき

●交通

- 都心へのアクセス手段である泉北高速鉄道の地下鉄御堂筋線・JR へのアクセスの悪さ、不規則なダイヤが不便(例として阪急電鉄宝塚線は 10 分おきに急行に乗れる。)さを感じさせる
- ニュータウン内を循環するバスを新設してほしい。泉北ニュータウンにおいてもクルマ社会化が徐々に進行しているように感じます。ただその一方でいつでも車で移動できる人が多いわけではありません。今一度ニュータウンでの公共交通機関のあり方を考え直していただき、少子高齢化と共存しながら公共交通機関を維持していくことのできる施策をお願いしたい
- 北の千里と南の泉北をメイン駅が並ぶ御堂筋線でつなぐようどうにかお願いします。近大医学部付属病院が駅前に来ることもあり、なかもずからの延伸は必須と思う

- 私は自走式車椅子ユーザーですが坂道が多いので緑道を少し勾配を緩和し移動し易くして欲しいですね
- 坂が多くて車以外での移動が難しい
- 車が無いと生活できない
- 和泉中央から泉州と関西空港と和歌山方面に行きやすくしたり、泉ヶ丘から南河内方面に行きやすくしたり、深井から石津川上野芝方面、鳳方面に交通網を延伸、交通網を拡大して欲しい
- 高すぎる泉北高速と南海バスの料金を安くして欲しい
- 泉北 1 号線の朝夜の渋滞はどうみているのか
- 榎・美木多駅南側は、トナリエができ、さらにバスの降車場から駅までが十分すぎるほどの道幅となり、とても満足している。駅北側と比べ南側は、住民人口が多く、車での送迎が格段に多い。北側ターミナルへの誘導は、信号を複数通過する必要があることから、なおさらターミナル手前での乗降を促進してしまうだろう。やはり南側に自家用車の停車スペースを作っていただくのがベストではないか
- バスなどの公共交通機関が充実できれば、将来自家用車が運転できなくなっても、安心して外出しやすくなる。いまは元気だからいいんだけど

(電車)

- 地下鉄を中百舌鳥から泉北まで直接乗り入れさせるべきだった
 - 高速鉄道が高いと言う印象が抜けないから中々、住もうとは思えません
 - 通勤に利便性が悪いので地下鉄沿いの北区に引っ越した。中百舌鳥乗り継ぎが改良されるまで戻る気はない
 - 泉北高速鉄道のダイヤ改善と運賃値下げに期待する
 - 泉北高速鉄道の中百舌鳥駅での乗継改善を早く実現してほしい
- (バス)
- 最寄りの鉄道駅迄、寄り合いバスみたいなものが欲しい

●住宅

- 団地を、全て、リノベーションしてほしい。住みやすくなれば、住んでみたい
- 老朽化しているなど思える建築物等を見るとやっぱり若い人は来そうにないのではとってしまうので、まずは見た目を綺麗にしたり、新しい感じにして住みたいと思えるような場所にしてほしい
- 公営住宅を整理し、戸建てのための宅地を確保して欲しい
- 実家が泉北の府営団地。耐震で引っ掛かり、取り壊し対象。提案されるのは今の住居とさほど変わらない古い団地や、駅や病院からも遠いところなど。今の自宅より不便な場所や、同じぐらい古い団地に引っ越すのは反対
- 閉鎖した府営住宅の解体や入居者の少ない団地の集約
- 公営団地の建て替え集約事業が進まなさすぎる。一気に建て替えてしまうと人口構成がまたいびつになるので長いスパンで上手に建て替え集約して欲しい
- 容積率が当初のまま低すぎて、広い土地を買わないと、泉北ニュータウンで若い世代の住居が手に入らず、若返りが起きない
- 古い団地(5 階建て)は建て直すべき。そして空いた土地を有効に利用すべき。
- 団地にペット専用棟、共生住宅を造ればたくさん人が　住んでくれるのではないかと
- 畑など貸農園を徒歩圏内で作ってほしい

●観光

- とても自然が多い所なので、サイクリングロード等を作り他府県の方々にも来てもらい、泉北に観光収入みたいに入れたい
- 関西国際空港からバス一本で来れることは露出していき、ゲストハウスや宿泊施設の整備は 2025 年(大阪万博)前に整えて PR が必要だと思う

●働き方

- コロナの影響もあってリモートワークが主流になっており、泉北 NT 内において仕事（職場）まで完結させる必要はないと思う。泉北 NT は住環境（※ただし、遠隔での仕事・勉強の場は含む）に特化した街づくりをお願いしたいと思う。
- コロナで在宅となるとオフィスに行く代わりに泉北ニュータウンで働くことも考えられる。そのような需要に応じて、シェアオフィスや空き家の活用や生活サポート、イベントを行ってもらえればと思。

●自治会

- 自治会などの運営について、高齢化が進み困難な部分が出てきている
- 自治会の支援を変える必要を感じる。大阪市内の地域協議会のような仕組みで、行政職員以外が地域支援に関わる仕組みが必要だと思う

●地域行事、イベント

- 大規模に地域の一大イベントのようなものがあれば嬉しい

●情報発信

- 泉北の新聞は読んでいますが twitter での発信がやはり若者としては有難い。Instagram もオススメ

●害虫、獣害

- カラス、野良猫が多過ぎる

●治安・防犯・マナー

- 街灯が、少なくてこわい
- 自然豊かないい環境だが、治安面に不安がある
- 夜駅からの緑道が怖くて仕方ない。防犯カメラをつけたり、普通の道路のような作りしてほしい
- 街並みが古くなっている。防災の観点からも電柱の地中化、側溝の地中化を推進して欲しい
- 今力を入れて掲げておられる人を対象とした施設やサービスだけではなく、行き場がなく迫害されている野良猫や飼い主の高齢化などにより遺棄されたペットをきちんと保護譲渡する施設（理想はドイツのティアハイムのような)、また、野良猫の去勢避妊を行い里親さんへ譲渡する保護譲渡施設や地域猫活動への支援

●子ども

- 子供が日曜日、祝日で室内で遊べるところ増やしてほしい
- 保育園で、親の休日も預かってもらいやすいようにして欲しい
- 病児保育の利用をしやすくして欲しい